

令和6年度倉敷市特別支援教育総合プロジェクト

倉敷市教育委員会

目標

支援を必要とする幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じて適切な指導及び必要な支援を行う

倉敷市教育委員会

特別支援教育専門家派遣事業

- 目的
- ・ 巡回相談による指導方法・支援体制についての指導・助言
 - ・ 校内研修の支援
 - ・ 保護者支援についての助言

- 構成メンバー
- ・ 専門家スタッフ（学識経験者・臨床心理士・福祉関係者等）
 - ・ 指導課特別支援教育推進室（臨床心理士及び指導主事）

教員研修講座

- 目的
- ・ 専門性、指導力の向上
 - ・ 障がいの理解

学校園生活支援員配置事業

- 目的
- ・ 支援環境の充実（生活支援員の配置：学事課）

倉敷支援学校

【センター的機能】

- ・ 教育相談
- ・ オープン講座等研修
- ・ 学校公開
- ・ 実践研究
- ・ 巡回相談

岡山県教育委員会

- ・ 特別支援教育エキスパート派遣事業
- ・ 通級による指導におけるICT活用研究事業
- ・ 県総合教育センターによる支援

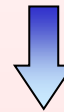
教育・医療・保健・福祉・労働等関係機関

- ・ 大学（特別支援教育大学連携事業）
- ・ 医療（小児科医のための学校連携プロジェクト）

学校園の取組

専門性、指導力の向上
支援体制の構築

校（園）内委員会



ケース会議

学校園と保護者が

支援

協議の場を持ち、合意形成する

特別支援教育コーディネーター

- ・ 就学相談、教育相談
- ・ 早期発見、早期支援
- ・ 支援方法の検討
- ・ 個別の教育支援計画
個別の指導計画の
作成、活用、引継ぎ
- ・ 合理的配慮の明記
- ・ 保護者との相談
- ・ 合意形成
- ・ 校（園）内研修会
- ・ 関係機関との連携

かがやき手帳の活用

連携

○実態把握

○実態に即した指導目標の設定

○支援の内容の明確化

○指導の展開

○評価